

なんでも相談会 & インボイス制度個別相談会

要予約 TEL 03-3986-2471

4月のなんでも相談会は、26日(金)13時30分~15時30分まで1日4組。法律相談、税務経営相談です。顧問税理士、弁護士が相談に応じます。

インボイス制度個別相談会は19日(金)、26日(金)10時~16時(45分毎)となります。



(購読料は組合費の中に含まれています)

定価三十円

発行所
東京土建一般労働組合
城北ブロック会議
東京都豊島区西池袋5-22-15
電話 豊島 (3986) 2471
北 (5390) 6021
板橋 (3963) 5325
練馬 (3825) 5522
発行人 寺島 耕平
発行予定日 毎月4回
1日、9日、17日、25日

四土建青年部 100万人署名行動



左から唐澤青年部長、土橋常任中執、渡邊書記、駒谷書記

青年部の活動として、2月に本部青年部大会、3月に四土建の青年部員が集まり署名行動を行いました。様子をお伝えします。

青年部集結して署名呼びかけ

3月10日には本部の活動として四土建の青年部員、担当書記が新宿駅南口に集まり、100万人署名行動を行いました。豊島支部からは唐澤部長、和田副部長、駒谷書記と私を含めて4人で行動に参加をしました。私が署名用紙を持ち、唐澤部長と一緒に声掛けを行い、駒谷書記も署名用紙を持ちながら積極的に通行人に署名への協力をお願いしました。和田さんはチラシの入ったティッシュをたくさんの人に配っていました。新宿駅にいる多くの通行人に気づいてもらえるように「建設労働者のための署名を行っています!ご協力お願いします!」と大きな声を出しました。豊島

支部青年部が一生懸命行動に励み、その甲斐あって豊島支部だけで署名を20筆以上も集めることができました。本部役員や書記たちからも注目されたと思います。豊島支部青年部が一丸となったことで、大変良い経験になりました。

本部青年部定期大会 豊島支部の仲間が大会議長に

2月25日に本部青年部定期大会が開催されました。豊島支部の岡崎匠吾さんが議長を務めました。初めての議長にもかかわらず、スムーズに総会を進めてくれて、頑張ってくれました。午後には墨田支部、府中国立支部から経験報告がありました。墨田支部はブロックの交流会やイベントを積極的に行い、府中国立支部では全京都建築労働組合(京建労)と協力して、実際に京都までいき、神社仏閣を見学するなどのスケールの大きい取り組みが印象に残り、とても参考になりました。分科会では、本部青年部の四役の秋元さん(府中国立支部)が司会を務め、緊張を和らげようと工夫をしてくれたおかげで話し合いも盛り上がり、他支部の書記や青年部員の意見を聞くことができて大変勉強になりました。

(渡邊亮太青年部担当書記)



議長をつとめる岡崎匠吾さん(右)

豊島支部6分会で総会が開催

分会総会報告

各分会より総会の様子を伝えてもらいました

さくら分会 野本教宣部長

さくら分会の総会は、3月26日午後7時より区民広場西楽鴨第1で行われました。会長あいさつに始まり23年度取り組み経過、24年度の取り組み案、引続き23年度決算、24年度予算案が報告されました。次に新役員の紹介があり、24年度の分会役員は若い人に入れ代わりました、今後の活発な活動を期待したいと思

ます。その後新保険証配布と留意点の説明があり、各群長さんに配られました。総会後は分会センターに有志が集まり打ち上げをしました。総会参加人数は25人でした。



上池袋本町分会

3月24日に区民ひろば上池袋で総会を開催しました。45人が参加しました。冒頭で、東京土建本部作成のYoutube動画「マイナンバーカードと保険証の一体化、マイナカード反対」を視聴しました。

23年度の運動を執行部より報告して、そのあと新役員、予算案を確認し、24年度の新執行部を選任しました。新年度もみんなで力を合わせることを確認して閉会しました。

南池袋分会 新井睦子教宣部長

南池袋分会総会は、3月26日午後7時より雑司が谷公園丘の上テラスで開催されました。大雨と強風の中、36人の参加でした。太田分会長の挨拶の後、司会の山川常任から第70回支部大会骨子、組織1%実増目標、24年度国保料の大幅値上げについての説明と、予算要求集会やほかき要請行動への協力要請がありました。23年度の総括を藪田書記長が、北島会長から女性の会活動報告がありました。分会長が24年度の拡大スローガン

「現状維持より一人でも!!」を読み上げ確認しました。その後、24年度の取組が提案され、みんなの拍手で承認されました。質疑応答では分会レクの時期について質問があり、秋の拡大にからめた時期に大勢の参加で行いたいとの回答がありました。その後新保険証の配布があり、最後に梅澤副委員長の閉会の挨拶で終了しました。



池袋分会

3月24日に豊島支部会館で総会を開催しました。22人が参加し、23年度の運

動を総括、予算案、新役員案を討議して採択しました。

かなめ分会 原田陽弘通信員

3月23日 豊島支部3Fにて行われました。普段中々見ない人や、久方ぶりの人、はじめましての人もありました。司会を大浦書記長が努め、玉木財政部長の挨拶から始まりました。書記による23年度経過、24年度取り組み案と続き、大浦書記長による23年度決算報告、書記により24年度予算の提案をしました。質問などは特になかったです。

総会に参加の方々一人一人にお願いしたところ、昨年のソフトボール大会や若手飲み会によく参加してくれた3人の仲間が、分会長を含め執行委員を引き受けてくれることになりました。最後は私よりハガキ要請行動への協力をお願いしました。



椎名町分会 田中承宏教宣部長

3月23日、区民ひろば椎名町にて総会・保険証交付会が46人の参加で行われました。分会総会では、分会長のあいさつのもと、23年度の活動報告や予算の検討などが行われ、この中で、ほかき要請行動で国保料の値上げが最小限に食い止められたことを報告し、自分たちのためにも引き続き取り組むことを意思統一しました。新役員の選出では、新たな執行委員が選ばれた一方、空欄になった専門部もあり、課題が残りました。総会最後に分会長の私より「組織を強くしていくには仲間の顔が見え、数を築くことが大切。分会センターに顔を出せない人

は加入してくれる仲間の情報を寄せてほしい。また、土建のメリットを利用して、暮らしをよりよくしてほしい。」とあいさつしました。そのあとの保険証交付会では、普段来られない事業所の社長や、若手組合員に仕事の現状や暮らしのことなどを聞くことができました。みんながしっかりと話してくれて非常に有意義な時間となりました。一人でも多くの仲間が楽しく過ごせるよう、楽しい分会を目指していく決意を強く持てる時間となりました。



「怒りのデモ行進」と 集団申告へ

3・13重税反対統一行動に参加しました。3月13日、1時30分から豊島税務署公園前にて全体100人、土建からは50人の参加で集団申告を行いました。

集団申告の前に集会を開き、主催者挨拶。土建からは宮本委員長はじめ、他団体から連帯の挨拶と申告での注意事項がありました。デモ行進では豊島税務署周辺を「消費税増税は許さないぞー!」「軍事費を暮らしと雇用にまわせー!」「最低賃金1500円を実現しろー!」「豊島区は公契約条例を創設せよー!」「自民党の裏金

脱税に課税せよー!」声を高らかに元気にシュプレヒコールをしながらデモ行進をしました。

申告もスムーズに終わったその時に、税務署担当より「来年1月から申告書等の控えに収受日付印の押なつて行いません、自分で控えの申告書の記録・管理をするように」との事でした。

今私たちの生活は非常に厳しい状況におかれ、景気不況、物価高、インボイス制度の強行によって苦しめられています。税金は大企業や大



金持ちのために使われたり、軍事費に使われるのではなく、誰もが安心して暮らせるために使われることを強く望みます。そして、厳しく苦しい今だからこそ『怒り』を束にして争

わなければならない時に、参加者の少なから争いの本気度はどこにあるのか、考えさせられた集団申告でした。

(工藤美也子通信員 椎名町分会)

活気ある総会が 各部署で開催

来年度も全世代が協力して運動する会を— 女性の会総会



3月23日に女性の会総会を支部会館で開催、33人の参加でした。来年の新役員、方針、予算を決議しました。若手にバトンタッチしての新年度の出発になります。

途中、隔週の木曜日に支部3階で体操、ヨガをご指導頂いている横尾先生にお越し頂き、操体法なる体操をご教示頂きました。各自の座席のスペースで簡単にできる体操とのことでしたが、体のゆがみを矯正し、疲れないイスの座り方、歩き方などを実際に体を動かしながら論理的に説明して頂き、目から鱗の落ちるようでした。

気づかぬ体のゆがみを修正して、後半の方針・予算案についてもしっかり討議し、来年度に向けて、今まで通り全世代が協力していく体制を確認して閉会しました。(竹鼻三枝通信員 事業所分会)

元気に人生を送れる社会の実現を目指して 豊寿クラブ総会



3月15日、豊寿クラブ第19回総会が豊島支部会館にて29人の参加で開催されました。23年度の議案の全てが一括で採択され、その後新役員が承認されました。

23年度は新型コロナが5類へと引き下げられたことで行動制限が解除される中、感染対策をしながら仲間との交流や健康を守る活動などに取り組んできました。春の拡大を皮切りに、7月は庭の湯にて懇親会、10月は秩父長静へのバスハイク、11月は腰痛学習会など、いずれも人気で参加された皆さんから「楽しかった」と再開を望む声が多く、好評でした。仲間と集い交流を深め、団結することで元気が生まれ、その元気が行動力となり、組合運動へとつながっていくのだと思います。

毎月駅頭宣伝や集会などに参加し、後継者世代を支える役割を担って奮闘していますが、人生ときには笑いも必要です。今回は総会に合わせ、女流落語家の「らむ音」さんをお招きして、会場に笑いを届けていただきました。

新年度の会長は昨年に引き続き私、間辺美恵子が就任しました。仲間の皆さんと共に組合運動への協力を惜まず、いつまでも元気に人生を送れる社会の実現を目指して歩んで参ります。どうぞよろしくお願いいたします。(間辺美恵子通信員 南池袋分会)

泊まりで
初めて

本部大会に 参加して



3月17日ライトキューブ宇都宮で行われた、東京土建一般労働組合第77回定期大会に参加してきました。豊島支部からは12名の参加です。私は昨年に続いて2回目です。泊まりの参加は今回が初めてなので楽しみにしていました。昨年は会場全体が元気がない印象だったので、私の発言は無いかもしれませんが、元気を出す心構えで参加しました。

午前はビデオ上映、中央執行委員長挨拶、各来賓挨拶、本部書記長による基調報告がありました。午後2時半からは分科会です。私は社保対部の会議に参加しました。社保対部では運動の重点として5つの課題を提案しました。①国の責任を迫る戦い ②補助金現行水準確保を目指す取り組み ③保健対策推進活動を進める ④健保適用除外の見直し ⑤健康保険証の存続の運動を進める 以上の項目を意識して、今後の行動をしていきたいと思いました。その後は各支部での取り組み報告がありました。その夜はホテルニューイタヤに泊まりましたが、食事の際に本部社保対部長の田村彰宏さんに声をかけていただきました。私の発言で分科会の空気が少し変わったとのことでした。

2日目のスローガンの唱和では、大きな声で元気よく「ヨシ」と返事ができました。最後はおなじみの「頑張ろう」三唱で締めました。来年度も頑張っていきます。

(原田陽弘通信員 かなめ分会)

PALの会総会—会長としての抱負

新年度が始まり、この度PALの会長に選出されました宮島です。昨年は幹事長として会長をサポートさせていただき、多くの学びと経験を積ませていただきました。PALは、ゼネコンやハウスメーカー、パワービルダーなど、建設職人の集まりであり、現場での声を集めて労働環境の改善に取り組んでいます。今後も、PALをさらに大きく発展させるため、さまざまな学習会やイベントを開催していく覚悟です。また、PALの成長は、建設産業の環境を変革し、新たな可能性を切り開く手助けになると信じています。そのためには、会員数の増加が不可欠です。働く仲間との対話を深め、会員の拡大を目指すとともに、参加しやすい交流会企画や他専門部との協力を通じて、PALの組織を強化していきたいと思っています。皆様のご支援とご協力を得ながら、PALをより一層発展させてまいります。共に力を合わせて、PALの未来を切り拓いていきましょう。(宮島秀樹 PALの会会長 さくら分会)

